

地域の公民館として改めて考える 広報&連携編

現状と問題

広報に力を注いで早3年。地域の人に「公民館に親しみを感じてもらいたい」「講座に参加してほしい」という想いはそう簡単には叶わない。一つの指標として、全受講者に占める香焼町民の割合を令和3年度からみている。取り組みを始めて1年経過した昨年度が、前年度比マイナス約10パーセント。今年度、約7パーセント持ち直したもののR3年度の数字には及ばず。

昨年度は、「香焼地区の人口が減っていることもあるが、まだまだ情報発信が不足している部分もあるだろうし、講座の見直しが必要かもしれない」と考え、自前の媒体だけでなく、南総合事務所や香焼図書館とのプチ連携による広報に組み込み、今年度も継続している。講座の見直しについても、新しい講座の企画、地域での講師発掘などに組み込みながら試行錯誤を続けた。

取り組みと結果

今年度も新たな広報媒体や連携先がないか模索する中で、いくつかの実験を試みた。

講座のチラシ作成

<取り組み>

講座の告知については、これまでも「公民館だより」にしつこいほど掲載してきた。秋の講座を例にとると、7月号の予告に始まり、8月号は片面がつつり、9月号以降は開講直前まで追加募集と多くの紙面を割いている。

今年度はこれに加え、追加募集している講座のうち開講日が近い4講座をまとめたチラシを作成して自治会に回覧してもらった。

きっかけは、提案型協働事業で実施した「スマホ講座」。協働する団体が作成したチラシを色紙に印刷して公民館だよりと一緒に回覧したところ、いつになく住民からの反応が早く、あっという間に定員超えとなった。

めったにない現象に、おたよりだけでは見慣れてきてスルーされているのか…、文字が小さくて目につかないのか…とアレコレ考え、チラシ作戦を試してみることに。

<結果>

9月、従来作成している講座ごとのチラシのデータを流用して、片面に2講座ずつ、できる限り文字を大きく、カットも入れて作成し、黄色の紙に印刷。

町内で回覧が始まったタイミングで、4講座のうち2講座に計6名の申し込みがあり、チラシの効果かと気をよくしていたが、10月は問い合わせもなかった。

たまたまだったのか…、それとも講座の内容なのか…、結局、効果を測りきれないままに終わったが、来年度も試してみたいと考えている。

香焼公民館「秋の講座」 **KOUYAGI**
 受講者募集中！9/1からは電話で申込 OK
 ☎871-5213 ※先着順なのでお早めに

気分上々「うたごえ公民館」
 童謡や唱歌など、とにかく楽しく歌いましょう！
 おなじみの曲、懐かしい曲を大きな声で歌えば、
 心も体もリフレッシュ！一緒にいかがですか。

日時 9月26日、10月3日
 火曜日 13:30~15:00
 講師 宮地 より子 先生

おうちも気持ちもスッキリ「お片づけ」
 ~紙類の溜めない・探さない整理収納術~
 郵便物、チラシ、領収書…家中に溢れる紙、紙、紙。
 紙類を溜めない整理の手順や、探さない収納術、
 日々の見直しポイントを一緒に学んで、
 あなたもスッキリしませんか。

日時 9月29日(金曜日)
 10:00~12:00
 講師 金原 由納 先生

講座の見直し

<取り組み>

新規受講者の獲得をはじめとして講座全体の活性化を図るため、春に1つ、夏休みに2つ、秋に2つの新規講座を企画。地域の人材の有効活用や地域団体との連携による講座の開設に注力し、「香焼まちづくり協議会」や「香焼町文化協会」のメンバーに協力していただくことができた。

<結果>

春と夏休みに企画した「ペタンク（フランス生まれの球技）」は、住民が世代を超えて交流できるツールとして、香焼まちづくり協議会が大会などを開催している。老人クラブ連合会のメンバーが主体だが、講座にして広報することで参加する層を増やすことができないかと考えた。結果、春は老人クラブ以外の申込者は3名、夏休みはコロナの影響で中止と残念な結果に終わった。

夏休みには、モザイクタイルを使った工作の講座も企画。ほかの公民館での開催はなく、夏休みの宿題にもなりそうなので、かなり期待していたが、こちらも申込者3名だった。

秋、香焼町文化協会の加入団体の協力を得て「うたごえ公民館」を企画。講座のアンケートなどでコースを希望する声以前からあったが、コロナで声出しが憚られたため開催を控えていた。状況も落ち着いてきた今年度、満を持しての開講だったが、やはり申込者は3名だけ。

新企画は、受講者数からみると惨敗。ただ、受講した人は、みんな楽しんでおり満足していた。指導・協力いただいた方々のお陰で、地域団体とは今後の連携につなげていきたいと思っている。

新たなプチ連携

<取り組み>

今年度、「深堀・香焼地域包括支援センター」とささやかな連携がスタート。月に1度、当館で「認知症カフェ」が開催されており、一人でも多く参加してほしいと思い、公民館だよりで告知を始めた。一方、当館の講座のチラシなどを認知症カフェで配付してもらっている。

また、「三和公民館」から講座チラシの設置依頼があったことがきっかけとなり、当館の映画のチラシ等を置かせていただくなどして、遅まきながら南部地区で連携する意識が高まった。

<結果>

始まったばかりの広報におけるプチ連携の成果は今のところ見えない。しかしながら、連携先の担当者とのやり取りが増え、広報以外でも連携・協力できるかもしれない事例が出てきた。

深堀・香焼地域包括支援センターから来年度の認知症カフェのメニューについて相談があり、情報提供、講師の紹介など、できる限りの協力をしたいと考えている。

課題とこれから

思ったような成果・効果が出せないままではあるが、広報に注力しつつ連携も少しずつ広がってきた。また、地域の人材との出会いにも恵まれてきつつある。来年度も、地元講師による新しい講座を予定しており、その後の展開も含めて楽しみだ。

これからも、公民館の認知度を高めながら、公民館で活動する人や地域の人たちの活躍の場を見つけたり、利用者同士をつないだりして、学びの拠点としての役割を少しでも果たせるようになりたいと思っている。